

東大・一橋2校対抗戦

平成17年11月12日(土曜日)第54回東京大学柔道部・一橋大学柔道部2校対抗戦が一橋大学国立キャンパス内有備館にてとり行われた。

当対抗戦は、大戦前は一高対東京高商(それぞれ現在の東大・一橋の教養学部に相当するもの)の試合として何度も行われてきたが、真に定期的なものではなかった。しかしながらその流れを受けて、戦後になって再興の機運が高まり、東大・一橋2校対抗戦(略して東商戦、商東戦と呼ばれている)が昭和27年に東京大学本郷構内七徳堂にて初めて開催され、以後脈々と両校主管持ち回りで続いてきたものである。当対抗戦は総力戦であり、両校柔道部とも互いによく似通った柔道環境であることから勝敗数が偏ることなく、その時々柔道部の勢いというものによって勝敗が大きく左右される、という傾向がある。正確な対戦成績は記録が不十分であり、明らかになっていない。

現在本対抗戦は15人の抜き勝負、講道館ルールを基本としながらも、技あり以上を勝敗基準とし、また寝技を重視するなど昔ながらの独自のルールを加味して行われている。過去にこの大会に参加した選手として、奥田碩経団連会長、石原慎太郎東京都知事、片山虎之助自民党参議院幹事長などがいる。

今年の試合は、1点ビハインドにて5鋒で出場した一橋大学4年生野瀬将悟3段が立ち技を中心に9人抜きし、一気に試合を決めるかに思われたが、副将にて出場した東京大学3年生菊池允人2段が立ち技、寝技にて8人を抜き返し、一橋大学残り2名が怪我が完治していないということで負傷棄権となり2人を残して東京大学の4年ぶりの勝利となった。

試合記録

東大	12-10	一橋大
藤原	合わせ技	柿元
同	合わせ技	虎川
同	横四方固	安原
辻	引き分け	同
笠松	引き分け	鍋島
高山	腕挫三角固	野瀬
鈴木	合わせ技	同
山城	大外刈	同
田川	内股	同
岡部	払腰	同

西沢	合わせ技	同
河野	大外刈	同
石橋	合わせ技	同
衛門	小外掛	同
和久利	引き分け	同
菊池(允)	合わせ技	辻部
同	大外刈	安井
同	大外刈	山本
同	腕挫十字固	菅屋
同	大外刈	金濱
同	腕挫脇固	武元
同	横四方固	星野
同	技あり(大外刈)	井戸川
同	負傷棄権	ナムナンスレン
同	負傷棄権	上田

以上

東京大学柔道部監督 楠 和久